

**弓削商船高等専門学校数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム**  
令和6年度自己点検・評価結果

会議名称：自己点検・評価委員会

評価日時：令和7年3月26日（水）

開催場所：弓削商船高等専門学校

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の実施要項細目による項目

自己点検・評価の視点	内部評価	評価理由
プログラムの履修・修得状況	B	本教育プログラムは、各学科の必修科目で構成されているため、学生全員が履修する。 2024年度の該当科目については途中退学者及び原級留置者を除き、全員が修得した。
学修成果	B	プログラムを構成する科目について、成績評価の平均点は良好であった。また、授業評価アンケートを行っており、「Q11.学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	B	授業評価アンケートを行っており、「Q11.学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた後輩等の学生への推奨度	B	本教育プログラムは必修科目で構成されている。そのため、本校に入学するすべての学生が教育プログラムの履修者となり、履修を促すための特別な推奨を行っていない。ただし、授業評価アンケートを通じて、授業における学生の興味関心の確認は必ず行っている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	B	本教育プログラムは必修科目で構成されている。そのため、本校に入学するすべての学生が教育プログラムの履修者となり、履修率100%である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	—	令和7年3月末時点で教育プログラムを修了した卒業者はいない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	—	毎年度にアンケート等を実施していない。
数理・データサイエンス・AⅠを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	B	本教育プログラムに関わる科目において、代表的な事例を紹介しつつ、その利便性を講義したり、社会におけるデータ・AⅠ利活用・社会で起きている変化を講義するなど、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解するよう取り組んでいる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	B	授業評価アンケートを行い、教員へフィードバックを行い、教務委員会において分析することで、より「分かりやすい」授業とするような体制を取っている。

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の実施要項細目による項目

自己点検・評価の視点	内部評価	評価理由
プログラムの履修・修得状況	B	本教育プログラムの今年度までの科目は、各学科の必修科目で構成されているため、学生全員が履修する。 2024年度の該当科目については途中退学者及び原級留置者を除き、全員が修得した。
学修成果	B	プログラムを構成する科目について、成績評価の平均点は良好であった。また、授業評価アンケートを行っており、「Q11.学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	B	授業評価アンケートを行っており、「Q11.学習内容を理解し興味をもった」のアンケート項目を分析することで学生の理解度を把握しているが、ほとんどの科目が4以上（5段階）であり、よく理解できていると言える。
学生アンケート等を通じた後輩等の学生への推奨度	B	本教育プログラムの今年度までの科目は必修科目で構成されている。そのため、履修を促すための特別な推奨を行っていない。ただし、授業評価アンケートを通じて、授業における学生の興味関心の確認は必ず行っている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	B	本教育プログラムの今年度までの科目は必修科目で構成されている。そのため、現時点での対象となる学生すべてが教育プログラムの履修者となり、履修率100%である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	—	令和7年3月末時点で教育プログラム修了者の卒業者はいない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	—	毎年度にアンケート等を実施していない。

<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>B</p>	<p>本教育プログラムに関わる科目において、代表的な事例を紹介しつつ、その利便性を講義したり、社会におけるデータ・AI利活用・社会で起きている変化を講義するなど、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解するよう取り組んでいる。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>B</p>	<p>授業評価アンケートを行い、教員へフィードバックを行い、教務委員会において分析することで、より「分かりやすい」授業とするような体制を取っている。</p>

- A：審査項目の観点を上回る成果を達成した。
- B：審査項目の観点通りの成果を達成した。
- C：審査項目の観点通りの成果を達成できなかったが、達成に向けての対応策が立案され、対応に着手している。
- D：審査項目の観点通りの成果を達成できなかった。さらに、達成に向けた対応策が立案されていない。